

## 1 国語に関する調査

## 【特長】

- 情報を適切に扱いながら文章を書くことができるかどうかをみる設問では、テーマになる言葉と関係する言葉を線でつなぐことができていた。
- 物語文では、登場人物の人物像を具体的に想像することや、登場人物の気持ちや考え方について描写を基に捉えることができていた。

## 【課題】

- 話すこと・聞くことにおいて、目的や意図に応じて日常生活の中から話題を決めて伝え合う内容を検討することができるかをみる設問で課題が見られた。聞き手の求めていることに応じて集めた材料を、分類したり優先順位を決めたりして、わかりやすく伝える学習活動を充実させていく。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことができるかどうかをみる設問で課題が見られた。漢字の意味を理解して正しく書く学習活動を充実させていく。

## 2 算数に関する調査

## 【特長】

- 示された場面を解釈し、式に表すことができるかどうかをみる設問では、未知の数量を表す記号として□を用い、問題場面どおりに数量の関係を式に表すことができていた。
- 立体図形の見取り図についての設問では、直方体を構成する要素である面と面や辺と辺の位置関係を理解し、正確な見取り図を選ぶことができていた。

## 【課題】

- 立体図形の体積を求める式を表す設問で課題が見られた。図形を構成する要素を見い出し、それらを活用して体積を求める学習活動を充実させていく。
- 変化と関係（速さ）について理解しているかどうかをみる設問で課題が見られた。二つの数量の関係に着目し、場面に応じて速さの比べ方を考察できるようにする必要がある。

### 3 児童質問紙の結果より

#### 【特長】

- いじめはどんな理由があってもいけないことを理解し、友達や周りの人の考えを大切にしてお過ごししている児童が多いことから、優しい気持ちをもって友達と接し、良好な友人関係を築いていることが伺える。
- 学習では、PC やタブレットなどを利用して友達と協力しながら取り組んだり、わからないところをすぐに調べたりと、自分のペースで学習を進めていることを実感しながら ICT 機器を効果的に活用していることが伺える。

#### 【課題】

- 1 日当たり 2 時間以上 PC やスマートフォン等を使ったゲームや動画視聴をして過ごしたり、朝食をとらないまま過ごしたりしている児童の割合が高い。規則正しい生活を心がけようとする意識を高める必要がある。
- 授業で学んだことを次の学習や日常生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができていると回答した児童の割合が低い。授業において、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組む機会を増やしていく。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- ICT 機器を効果的に利用しながら、子どもたちが自分から「問い」をもって課題を解決する力を身に付けていくような授業づくりの工夫を、今後も継続していく。
- 自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができるように、また、相手の伝えたいことを理解して自分の意見や考えを見直すことができるように、「ことば」を介して授業中に友達と対話する時間を設けたり、学級活動等での話し合いの時間を確保したりしていく。
- 一人一人が自己肯定感をもち、生き生きと学校生活を送ることができるよう、努力する姿や成長し遂げることができた姿を、教師だけでなく友達同士でも認め合っていく。
- 地元の方をゲストティーチャーに招いてお話を聞いたり、公民館や図書館等の利用を促したりする等、地域の力を子どもたちの学びに取り入れていくようにする。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 朝食を毎日食べる、早寝早起きをする、ゲームやスマートフォンの利用は約束事を守る等、基本的な生活習慣を身に付けて学校生活が送れるよう、ご家庭でもお声掛けをお願いします。
- 地域にも子どもたちの学びの場が多くあります。地域行事や公民館での子ども向けの催し物、博物館や美術館の催事への参加等、ぜひご家族一緒に体験してみてください。
- 子どもたちが、「ことば」の力を介して周囲の人たちとのよい人間関係が築けるよう、適切な「ことば」を使って会話をしたり文章を書いたりするなど、お子さんの「ことば」の力の育成に、ご家庭でもご協力ください。